



VACUUM TUBE CONTROL AMPLIFIER

CL-1000

このたびは、ラックスマンの真空管コントロール・アンプリファイヤー CL-1000をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、90 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

| | |
|-------------------|----|
| 使用上の注意 | 1 |
| 本機の特徴 | 2 |
| 各部の名称と用途 | 5 |
| 接続方法 | 9 |
| 操作方法 | 12 |
| ブロックダイアグラム | 13 |
| 規格 | 14 |
| 修理に出される前に | 16 |
| アフターサービスと品質保証について | 17 |

アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

通風孔について

本機は、真空管を使用した発熱の多いアンプのため、通風孔はふさがないでください。なお、ラックなどへ設置する場合は、十分な空間を取り、扉は開放して使用し、他の機器を上積み重ねたり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

併用機器との接続時の注意

本機に CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、チューナー、レコーダーなどの入力機器を接続するときには、本機をはじめ、すべての併用機器の電源スイッチを必ず切ってください。スピーカーを破損するほどのノイズが発生したり、場合によっては故障の原因になることがあります。

本機の各入力端子に差し込むピンプラグは、しっかりと差し込んでください。アース側が浮いているとハムなどのノイズが発生し、S/N 比悪化の原因になります。

電源オン後すぐに音は出ません

本機には出力回路を切り離すためのタイム・ミュート回路が組み込まれているため、電源オン後すぐには音が出ません。

このタイム・ミュート回路が解除されるまでに音量が上がっていると、急に大きな音が出てくることになります。ボリューム・コントロールは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度な音量にセットしてください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

安全上のご注意

注意



本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。



本機は真空管を使用したアンプです。電源の入った状態では本体がかなり熱くなりますので、手で触れたりすることのないようお気をつけください。また小さなお子様や放し飼いにしたペットのいる場所でのご使用は安全のためお控えください。

本機の特徴

LECUTA LUXMAN Electric Controlled Ultimate Transformer Attenuator

ファインメット® コアを採用した 34 接点トランス式アッテネーターを対になる 34 個のリレーで切り換えています。トランス式アッテネーターは信号伝送ラインに直列に入る直流抵抗値を小さく抑えることが可能です。

トランス式アッテネーターのコア材は、MQ-300 と同様に日立金属株式会社のファインメット® を採用しており、広帯域においての透磁率、コア損失が少ないことから、可聴周波数の周波数特性に優れ音質の変化が少ないという特徴を持っています。

そしてアッテネーターとリレーの接続ワイヤーも、34 接点すべてを最短かつ同一の長さとする事で、音量レベルによる音質の変化を最小にする設計になっています。

オール真空管設計

全ての増幅回路を JJ (スロバキア) 製真空管 (E88CC × 6 本) によって構成。

真空管 E88CC-JJ

E88CC は、高信頼管と同性質の SQ 管 (Special Quality 管の略) であり、低雑音の真空管です。

バランス入力回路

入力回路に専用のスーパーパーマロイトランスを搭載。

バランス出力回路

出力回路に専用のスーパーパーマロイトランスを搭載。

PHASE INVERT 機能

本機に接続されるバランス入力及びバランス出力の機器の極性にあわせ、位相切り換えが可能。

本機のアンバランス出力も位相切り換えが可能。

ARTICULATOR

アッテネータートランスの消磁・調律機能により、クリアな音楽再生が可能です。

電源 ON 後、ミュート中により自動でアッテネータートランスを消磁します。

ARTICULATOR スイッチにより、手動でも操作が可能です。

内蔵発振器により信号を発生し、この信号を徐々に減衰させることにより、アッテネータートランスを消磁します。使用しないときは、発振器の電源をオフにしますので通常使用時は音声回路への干渉はありません。

音声信号ラインの抵抗を排除

入力から出力まで音声信号ラインに直列に入る抵抗を排除する事により、音質劣化を少なくし高品位な音楽再生を実現しています。(ライン・ストレート・オフ時は抵抗が入ります)

トーン・コントロール

往年のLUX型トーン・コントロール回路を採用。
細かな音質調整が可能なターンオーバー周波数3段階切替のバス/トレブル式トーン・コントロール機能を採用。

木製トップカバー

往年のデザインにあわせた(コ)の字型木製トップカバーを採用。
ウォールナットの突板にローズウッド色光沢塗装仕上げ。

ハイイナージャ電源

大容量のEIコアタイプ電源トランスとカスタム仕様のブロックコンデンサーを組み合わせた、ハイイナージャ(高慣性)電源回路。

ショットキーバリア・ダイオード

電源整流回路にはスイッチング・ノイズが少なく直流電圧への変換効率の高い、京セラ(旧日本インター)製ショットキーバリア・ダイオードを採用。

オリジナル OFC ワイヤー

内部配線は各芯スパイラルラップ・シールドと芯線の非メッキ処理で自然な信号伝送を実現した、オリジナルのOFCワイヤーを採用。

ループレス・シャーシ構造

シャーシ電流によるアース・インピーダンスの上昇をシャットアウトする、独立コンストラクションのループレス・シャーシ構造。

AC インレット

外付け電源ケーブルの装着を可能にするハイグレードな金メッキ(非磁性処理)ACインレット。

電源ケーブル(JPA-15000)

聴感上の周波数のうねりを排除するノンツイスト構造、無酸素銅(OFC)の3.5mm²極太線を採用。

-
- ・ファインメット®は日立金属株式会社の登録商標です。
 - ・記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
-

本機の特徴

入出力端子

銅合金製 RCA 端子とノイトリック社製 XLR 端子。

セレクター・リレー

当社アンプの要所に採用された、セパレーションとクロストーク性能を高める高音質セレクター・リレー採用。

フローティング構造

真空管回路は、ブロックごとフローティング構造とし、マイクロフォニックノイズを低減。

鋳鉄製インシュレーター

不要な外部振動を排除し、本体の重量を強固に支えるグラデーショナル鋳鉄製インシュレーターを装着。

ローカット、モノラル

アナログ・レコードの反りによるウーハーのふらつきを抑えるローカット・スイッチやモノラル再生時に便利なモノラル・スイッチを装備。

2系統のアンバランス出力

パワーアンプを2台使用するバイアンプ構成時の配線に便利な2系統の出力端子を装備。(2系統常時出力)

2系統のバランス出力

パワーアンプを2台使用するバイアンプ構成時の配線に便利な2系統の出力端子を装備。(2系統常時出力)

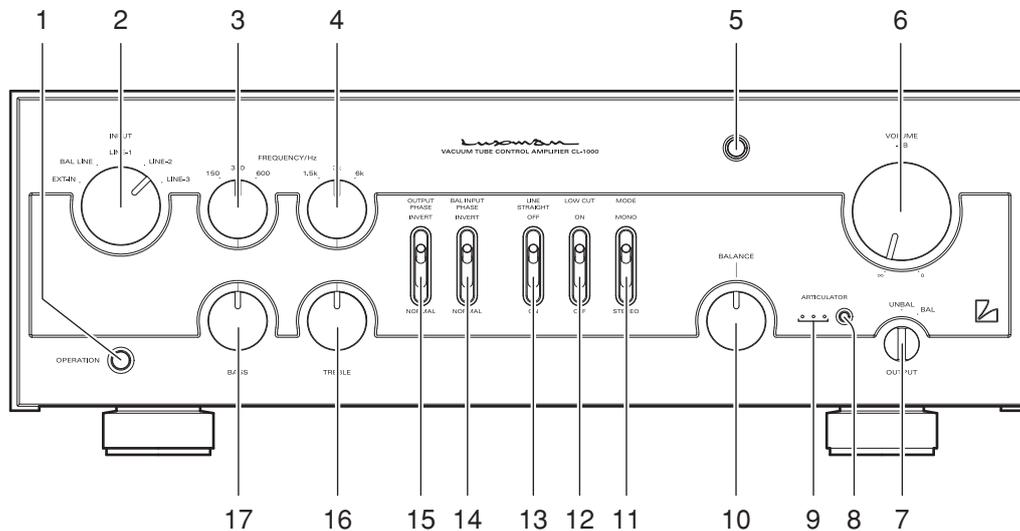
カスタムパーツ

ラックスマン独自の高音質カスタムオイルコンデンサーを採用。

高信頼設計

真空管の動作条件に余裕を持たせた長寿命、高信頼性設計を採用。

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするスイッチです。

配線、接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。オフにしてから、再度オンにするときは1分以上時間をおいてください

2. インプット・セレクター

CD/スーパーオーディオCDプレーヤー、チューナーなど各入力端子に接続した入力機器を選択するためのスイッチです。

LINE-1、LINE-2、LINE-3、BAL LINE、EXT-IN の5つの位置があり、それぞれリアパネルの入力端子と対応しています。再生したい入力系統の位置に合わせて、入力を選択します。

EXT-IN は、ライン入力として使用できます。

3. ターンオーバー周波数 (低域) 切替スイッチ (FREQUENCY/Hz)

低域用トーンコントロールのターンオーバー周波数を150Hz、300Hz、600Hzに切り替えるスイッチです。例えばこのスイッチを150に合わせると150Hz以下の周波数を低域用トーンコントロール (BASS) で変化させることができます。

4. ターンオーバー周波数 (高域) 切替スイッチ (FREQUENCY/Hz)

高域用トーンコントロールのターンオーバー周波数を1.5kHz、3kHz、6kHzに切り替えるスイッチです。例えばこのスイッチを1.5kに合わせると1.5kHz以上の周波数を高域用トーンコントロール (TREBLE) で変化させることができます。

5. パイロットランプ

オペレーション・スイッチをオンにするとウォーミングアップ中は点滅し、その後動作状態になると点灯します。ミュート中も点滅します。

6. ボリューム・コントロール (VOLUME)

音量を調節するためのつまみです。

$\infty \leftrightarrow 0$ (-dB) に34ステップ変化します。

左側へ回し切った位置では音が出ません。右に回していくと音量は徐々に大きくなっていきます。

7. 出力切替スイッチ (OUTPUT)

アンバランス出力とバランス出力を切り替えるスイッチです。両方同時に出力することはできません。

- UNBAL (アンバランス出力)

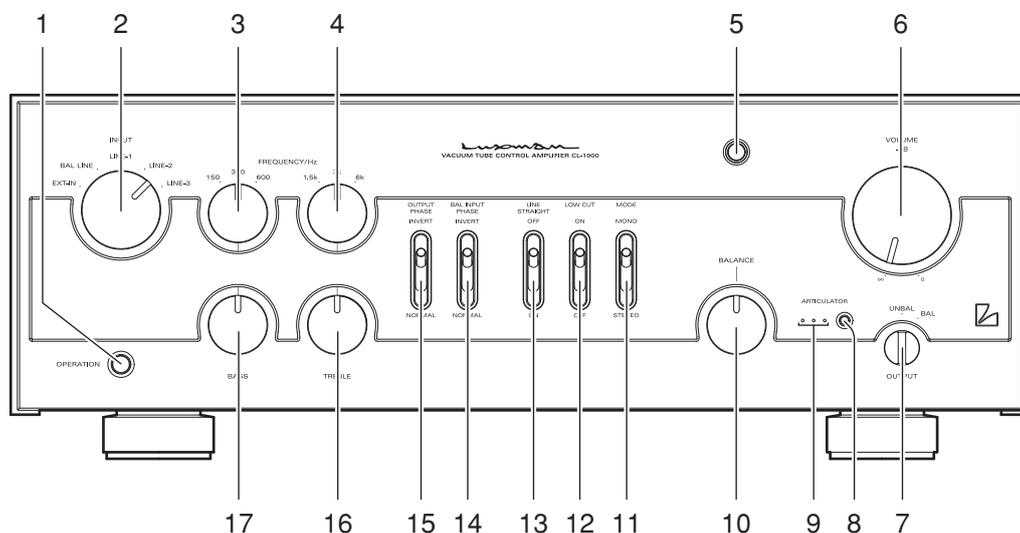
LINE-1 と LINE-2 から音声信号を出力します。

- BAL (バランス出力)

BAL LINE-1 と BAL LINE-2 から音声信号を出力します。

各部の名称と用途

本体正面



8. アーティキュレーター・スイッチ (ARTICULATOR)

アーティキュレータとは調律を意味し、内部発振器を使用する消磁機能です。

このボタンを押すと、消磁動作が始まりアーティキュレーター・インジケータが表示されます。消磁動作が終わるまで、約30秒かかります。その間、再生音は出力されません。

LECUTAのトランス式アッテネーターが消磁され、みずみずしい音楽表現がよみがえります。

ボリュームの位置を9～10時程度に上げておくと、アーティキュレーター機能により、出力トランスも消磁されます。

アーティキュレーターが完了すると、ミュートが解除されますので、再生音量にご注意ください。

9. アーティキュレーター・インジケータ

アーティキュレーターの進み具合をLEDで表示します。

- 内部信号発振中
- 徐々に信号を減衰
- 発振回路停止と電源オフ
- 終了（消灯）

10. バランス・コントロール (BALANCE)

左右チャンネルの音量バランスを調節するためのつまみです。左に回せば音量のバランスが左に片寄り、右に回せば音量のバランスが右に片寄ります。通常は中央位置で使用し、必要に応じて調節してください。

11. モード・スイッチ (MODE)

出力モードの切り替えスイッチです。

MONO : 左右チャンネルの信号がミックスされます。

STEREO : 通常のスtereo再生をします。

12. ローカット・スイッチ (LOW CUT)

低音域をカットするスイッチです。

OFF : 通常の状態です。

ON : 30Hz以下の低音域をカットします(-6dB/oct)。

※レコード再生時、レコードの反りによってスピーカークのウーハーが不要に揺れたりする場合に有効です。

13. ライン・ストレート・スイッチ (LINE STRAIGHT)

トーン・コントロール回路とバランス・コントロール回路をバイパスさせるスイッチです。

OFF : トーン・コントロール (TONE CONTROL) による低域と高域の調節および、左右チャンネルのバランス・コントロール (BALANCE) の調節が可能になります。

ON : トーン・コントロール回路とバランス・コントロール回路がバイパスされます。このときトーン・コントロール (TONE CONTROL) とバランス・コントロール (BALANCE) は調節できません。

14. バランス入力位相反転スイッチ (BAL INPUT PHASE INVERT)

バランス入力端子使用時の位相切替スイッチです。入力機器の位相に合わせてください。

- | | |
|--------------|------------|
| NORMAL ポジション | ① GROUND |
| | ② COLD (-) |
| | ③ HOT (+) |
| INVERT ポジション | ① GROUND |
| | ② HOT (+) |
| | ③ COLD (-) |

15. 出力位相反転スイッチ (OUTPUT PHASE INVERT)

アンバランス出力とバランス出力の位相を反転させるための切替スイッチです。パワーアンプ等の入力機器の位相に合わせてください。

出力モードがバランス出力 (BAL) の場合

- | | |
|----------------|------------|
| ノーマル (NORMAL) | ① GROUND |
| | ② COLD (-) |
| | ③ HOT (+) |
| インバート (INVERT) | ① GROUND |
| | ② HOT (+) |
| | ③ COLD (-) |

出力モードがアンバランス出力 (UNBAL) の場合

- | | |
|----------------|----|
| ノーマル (NORMAL) | 正相 |
| インバート (INVERT) | 反転 |

16. 高域用トーン・コントロール (TREBLE)

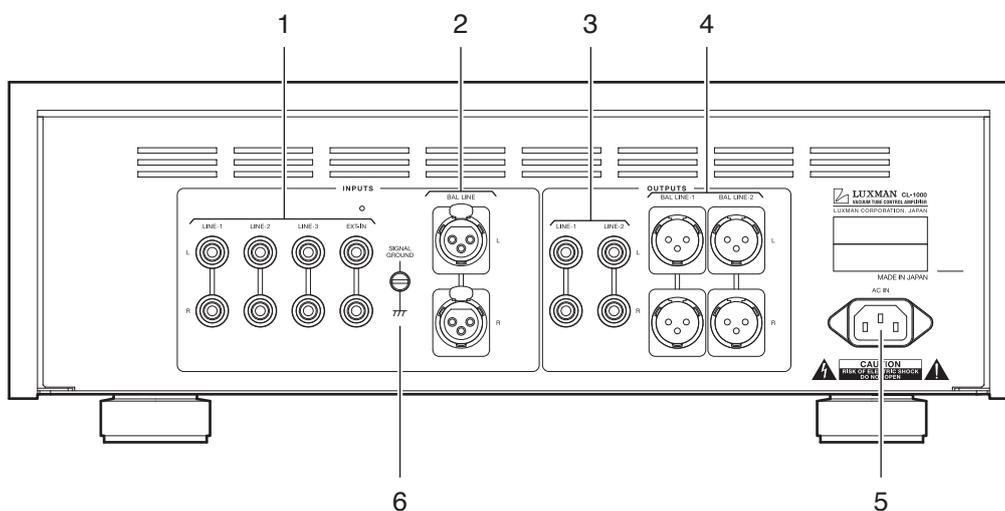
高音域の周波数特性を変化させるためのレベル・コントロールです。中央位置でフラットな周波数特性になり、これより右に回すと高音域が増強し、左に回せば減衰します。

17. 低域用トーン・コントロール (BASS)

低音域の周波数特性を変化させるためのレベル・コントロールです。中央位置でフラットな周波数特性になり、これより右に回すと低音域が増強し、左に回せば減衰します。

各部の名称と用途

本体後面



1. アンバランス入力端子 / INPUTS

(LINE-1、LINE-2、LINE-3、EXT-IN)

ラインレベルのアンバランス音声信号を入力するコアキシャル入力端子です。

CDプレーヤーなどの入力機器のアンバランス出力とピンプラグケーブルを使用して接続してください。

入力された音声信号は、インプット・セレクターで選択され出力されます。

LINE-1、LINE-2、LINE-3、EXT-IN は同等の品質です。

2. バランス入力端子 / INPUTS (BAL LINE)

ラインレベルのバランス音声信号を入力する XLR コネクター入力端子です。

CDプレーヤーなどの入力機器のバランス出力とバランスケーブルを使用して接続してください。

入力された音声信号は、インプット・セレクターで選択され出力されます。

3. アンバランス出力端子 / OUTPUTS

(LINE-1、LINE-2)

本機のアンバランス音声信号を出力するコアキシャル出力端子です。

パワーアンプなどの出力機器のアンバランス入力にピンプラグケーブルを使用して接続してください。

出力される音声信号は、出力切替スイッチで選択されます。

4. バランス出力端子 / OUTPUTS

(BAL LINE-1、BAL LINE-2)

本機のバランス音声信号を出力する XLR コネクター出力端子です。

パワーアンプなどの出力機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続してください。

出力される音声信号は、出力切替スイッチで選択されます。

BAL LINE-1、BAL LINE-2 は同等の音質です。

5. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。

電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

6. シグナル・グラウンド (アース端子)

(SIGNAL GROUND)

本機に接続する機器のアース用端子です。

この端子は、他の機器を接続した場合の雑音低減をはかるためのもので、安全のためのアースではありません。

接続する前に

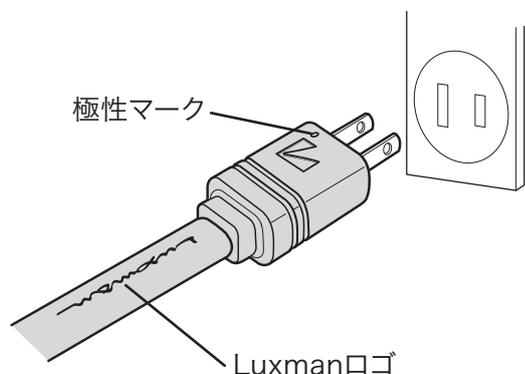
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機のメイン電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。プラグにある極性マークがコンセントに向かって左側になるように（ケーブルの Luxman ロゴが見えるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



入力端子と CD プレーヤーなどの入力機器との接続

CD プレーヤーなどの入力機器の出力端子と本機の入力端子の間を、ピンプラグケーブルあるいはバランスケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように充分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

出力端子とパワーアンプなどの出力機器との接続

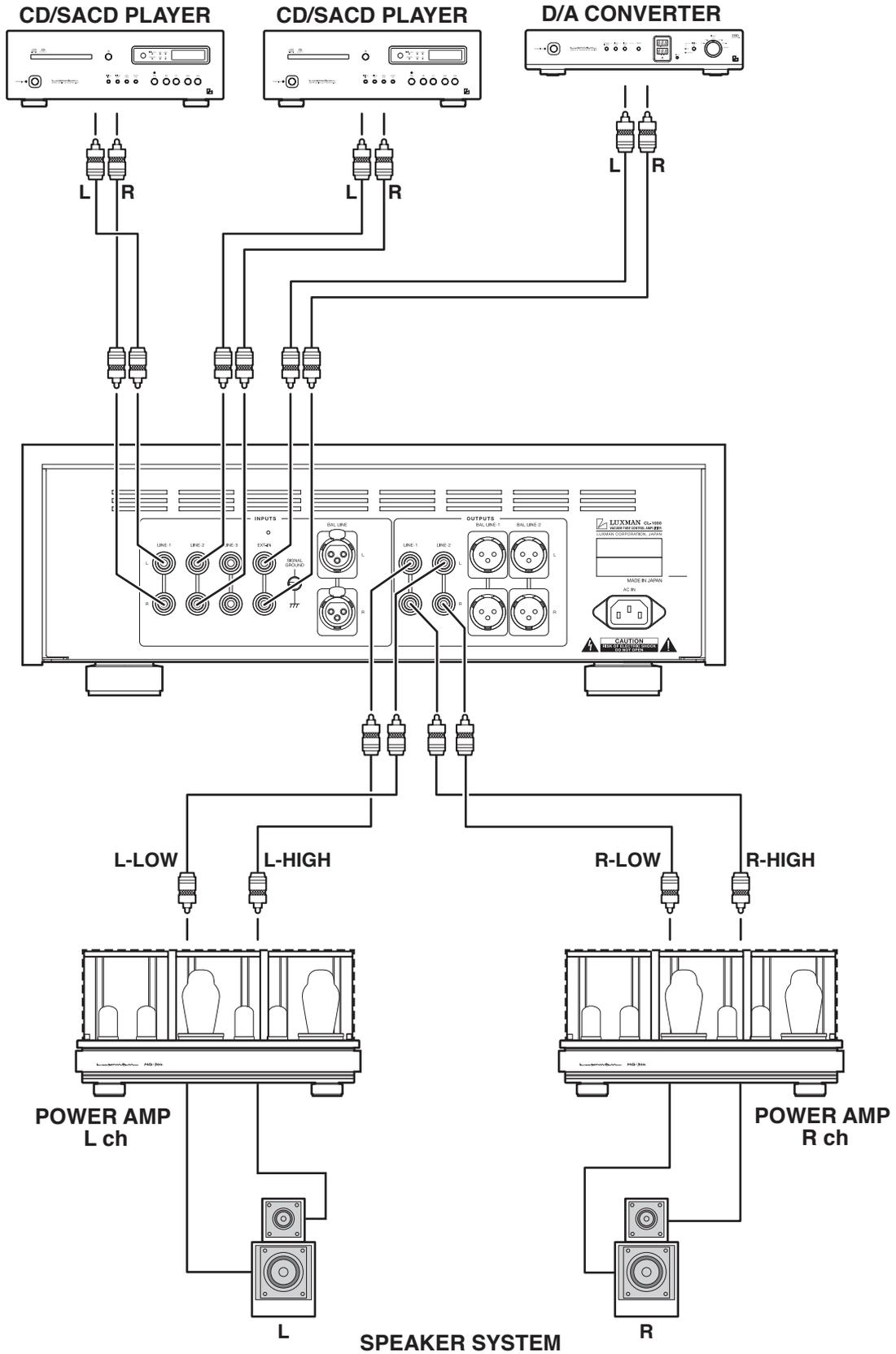
パワーアンプなどの出力機器の入力端子と本機の出力端子の間を、ピンプラグケーブルあるいはバランスケーブルで接続します。

このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように充分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

過大入力からアンプとスピーカーを保護するために、本機と入出力機器を接続する場合は、本機の電源スイッチをオフにしてください。また、本機に接続する入出力機器の電源もオフにしてください。接続完了後に正しく接続されていることを確認してから本機および入出力機器を動作状態にしてください。

バイアンプ・ステレオ再生



操作方法

操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。(L、Rの接続に誤りがあると正常な再生ができません。)
2. 電源オン/オフ時やインプット・セレクターを切り替えるときは、ボリューム・コントロールを最小にしてから行ってください。

再生の手順

1. ボリューム・コントロールの音量が下がっていることを確認し、オペレーション・スイッチを押してオンにします。
2. 再生するソースをインプット・セレクターで選択します。
3. 音量をボリューム・コントロールで調整します。
4. 再生するソースに応じてライン・ストレート・スイッチ、バランス・コントロール、トーン・コントロールなどを操作します。

ライン・ストレート・スイッチ (LINE STRAIGHT)

の操作

インプット・セレクターで選んだソースの純度を高めるため、最短の信号経路で再生するとき使用します。このスイッチがオンのときは、トーン・コントロール、バランス・コントロールはバイパスされます。このときトーン・コントロール (TONE CONTROL) とバランス・コントロール (BALANCE) は調節できません。

バランス・コントロール (BALANCE) の操作

左右チャンネル間の音量バランスを調節することができます。

左右チャンネル間の音量バランスの調節が不要なときは、中央位置で使用します。

ライン・ストレート・スイッチ (LINE STRAIGHT) がオンのときはバランス・コントロール (BALANCE) を操作しても左右の音量は変化しません。

トーン・コントロール (TONE CONTROL)

の操作

本機のトーン・コントロール機能には、低域用と高域用があります。

低域用は、ターンオーバー周波数 (低域用 FREQUENCY/Hz) 切替スイッチで選んだ周波数以下の低音域を変化させるものです。

中央位置でフラットな周波数特性となるように設定されており、この位置より右に回すと低音域が増強し、左に回せば減衰します。

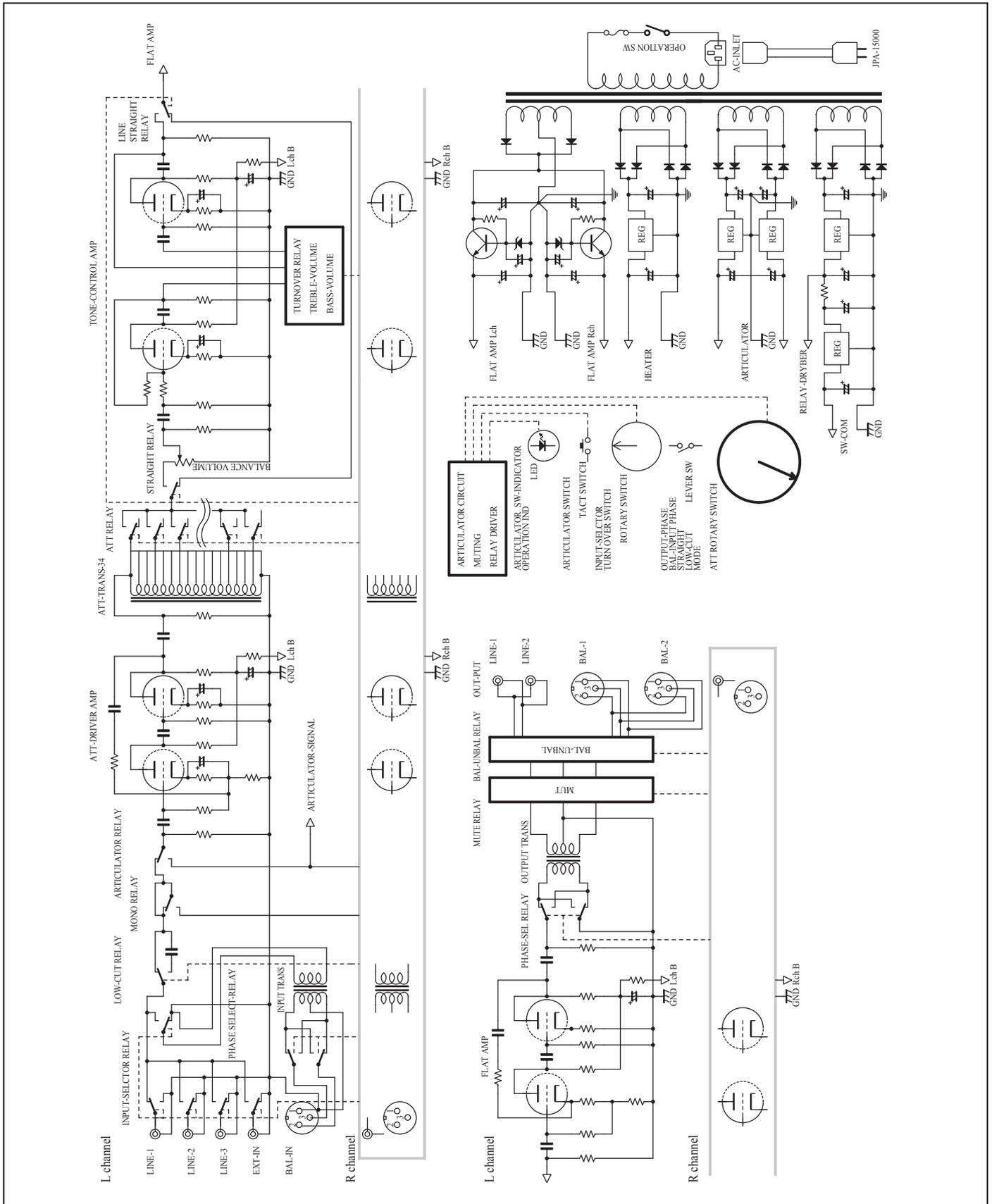
高域用は、ターンオーバー周波数 (高域用 FREQUENCY/Hz) 切替スイッチで選んだ周波数以上の高音域を変化させるものです。

低域用と同様に、中央位置でフラット、右に回すと高音域が増強し、左に回すと減衰します。

なお、低域用も高域用も左右チャンネルが連動して働きます。

ライン・ストレート・スイッチ (LINE STRAIGHT) がオンのときはトーン・コントロールを操作しても低域と高域のレベルは変化しません。

ブロックダイアグラム



規格

| | | |
|------------|--|--|
| 入力感度 | LINE BAL LINE | : 180mV / 1V 出力・1kHz・負荷 50k Ω : 180mV / 1V 出力・1kHz・負荷 50k Ω |
| 最大出力 | LINE BAL LINE | : 18V / 歪 1%・1kHz・負荷 50k Ω : 18V / 歪 1%・1kHz・負荷 50k Ω |
| 入力インピーダンス | LINE BAL LINE | : 90k Ω / 1kHz : 70k Ω / 1kHz |
| 出力インピーダンス | LINE BAL LINE | : 1k Ω / 1kHz : 1k Ω / 1kHz |
| 全高調波歪 | LINE BAL LINE | : 0.016% / 1V 出力・1kHz・負荷 50k Ω : 0.016% / 1V 出力・1kHz・負荷 50k Ω |
| 周波数特性 | LINE BAL LINE | : + 0.3, -0dB / 1V 出力・20Hz ~ 20kHz・負荷 50k Ω : + 3, -3dB / 1V 出力・6Hz ~ 140kHz・負荷 50k Ω : + 0.3, -0dB / 1V 出力・20Hz ~ 20kHz・負荷 50k Ω : + 3, -3dB / 1V 出力・6Hz ~ 140kHz・負荷 50k Ω |
| S/N 比 | LINE BAL LINE | : 114dB (IHF-A) / 歪 0.1%, 1kHz, 負荷 50k Ω : 114dB (IHF-A) / 歪 0.1%, 1kHz, 負荷 50k Ω |
| トーン・コントロール | 最大変化量 低域ターン・オーバー周波数 高域ターン・オーバー周波数 | : \pm 8dB : 150Hz 300Hz 600Hz : 1.5kHz 3kHz 6kHz |
| ローカット | 30Hz (-6dB / oct.) | |
| 入力 | ライン 4 系統、バランス 1 系統 | |
| 出力 | ライン 2 系統、バランス 2 系統、 | |
| 付属機能 | [フロントパネル] ・オペレーション・スイッチ ・ボリューム・コントロール ・アーティキュレーター・スイッチ ・バランス・コントロール ・インプット・セレクター ・ターンオーバー周波数切替スイッチ ・ライン・ストレート・スイッチ ・バランス入力位相切替スイッチ ・トーン・コントロール ・出力切替スイッチ ・ローカット・スイッチ ・モード・スイッチ ・出力位相切替スイッチ [リアパネル] ・入出力端子 ・シグナル・グラウンド端子 ・AC インレット | |
| 回路方式 | 2 段増幅 P-K NF 型、トーンコントロール P-G NF 型 | |
| 使用真空管 | E88CC (JJ 製・高信頼管) \times 6 | |
| 付属品 | ・電源ケーブル (JPA-15000) ・端子保護キャップ ・取扱説明書 (本書) ・保証書 ・安全上のご注意 ・プレミアム延長保証登録申請書 | |

| | |
|--------|---|
| 電源電圧 | AC 100V (50/60Hz) |
| 消費電力 | 38W (電気用品安全法による規定) |
| 最大外形寸法 | 460 (W) × 166 (H) × 454 (D) mm (奥行きは前面ノブ 13.5mm、背面端子 14.5mm を含む) |
| 質量 | 24.4kg (本体) |

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧ください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などをいただくことがあります。

| 症 状 | 原 因 | 対 策 |
|--|--|---|
| オペレーション・スイッチを押しても電源が入らない。 パイロットランプが点灯しない。 | ・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。 | ・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。 |
| | ・電源プラグが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。 | ・電源プラグを AC インレットへ確実に差し込む。 |
| 音が出ない。 | ・ボリューム・コントロールもしくはパワーアンプのアッテネーターが最小音量の位置になっている。 | ・ボリューム・コントロールもしくはパワーアンプのアッテネーターを回して音量を調節する。 |
| | ・インプット・セレクターが再生するソースの位置にセットされていない。 | ・インプット・セレクターを再生するソースの位置にセットする。 |
| | ・接続した出力端子と選択した出力モード設定があていない。 | ・出力モードを接続した出力端子にセットする。 |
| | ・接続ケーブルの接続が不完全。 | ・接続ケーブルを確実に接続する。 |
| 音はでるが、音量が小さい。 片チャンネルだけ音量が小さい。 | ・バランス・コントロールが片側に回されている。 | ・通常バランス・コントロールは、中央位置で使用する。 |
| | ・パワーアンプのアッテネーターがオンになっている。 | ・アッテネーターをオフにする。 |
| ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。 | ・接続ケーブルのアース側が接触していない。 | ・接続を確実に行う。 |
| | ・他機器の電源トランスからの誘導ノイズを受けている。 | ・他機器から離して設置する。別系統のコンセントにつなぎかえる。 |
| | ・入出力ケーブルとスピーカーケーブルが電源ケーブルに接近しすぎている。 | ・入出力ケーブルとスピーカーケーブルを電源ケーブルから離す。 |
| トーン・コントロールの効果が現れない。 | ・ライン・ストレート・スイッチがオンになっている。 | ・ライン・ストレート・スイッチをオフにする。 |

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはご購入店までご連絡ください。状況に応じた修理をさせていただきます。

本機の保証期間はご購入日より起算して標準2年間、または、プレミアム延長保証適用の場合3年間（ただし、真空管などの消耗品は1年間）です。

標準2年間の保証書およびプレミアム延長保証登録申請書は本機のパッキングケース内に入っています。

プレミアム延長保証適用条件

弊社正規取扱店での購入証明（領収書やレシートの複写）を貼り付けたプレミアム延長保証登録申請書を弊社宛てにご返送ください。
※正規取扱店につきましては、弊社ホームページをご覧ください。弊社営業部までお問い合わせください。

- プレミアム延長保証制度では、製品に同梱される保証書による標準2年間の保証に加え、下記に分類する製品の種類により、保証期間を延長いたします。保証期間につきましては、後日お届けいたします「クラブ・ラックスマン」カードに記載されます。「クラブ・ラックスマン」カードはプレミアム延長保証適用の保証書となります。
- 製品別プレミアム延長保証期間
プラス5年（計7年間保証）：トランジスターアンプ、D/Aコンバーター
プラス1年（計3年間保証）：真空管アンプ、CD/SACDプレーヤー、アナログプレーヤー
（現保証期間が5年間の製品は7年間、真空管等の消耗品は1年間となります。）
- プレミアム延長保証が適用とならない場合は、標準の2年間保証となり、修理の際は、製品に同梱される保証書と購入証明が必要となりますので、大切に保管してください。プレミアム延長保証が適用とならない場合は以下のとおりです。
 - ・ご購入店が弊社正規取扱店でない場合
 - ・「プレミアム延長保証登録申請書」のご送付が無い場合
 - ・弊社正規取扱店の購入証明が無い場合
 - ・購入証明の日付が弊社出荷日と著しく異なる場合（プレミアム延長保証登録をせず転売された場合等）

保証規約

製品は厳密な品質管理及び検査を経て出荷されておりますが、万一の自然故障の際には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。保証の条件は以下記載のとおりです。

- 万一の自然故障につきましてはご購入日より保証書または「クラブ・ラックスマン」カード表面記載の保証期間無償修理いたします。（ただし真空管等の消耗品は1年間）
- 保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合、また保証期間外の修理の場合は有償にて承ります。
- 保証期間内であっても次の様な場合は保証対象外となり、修理は有償にて承ります。
 - ・保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合
 - ・使用上の誤り、改造、業務目的または海外でのご使用による故障、損傷
 - ・本製品以外（電源等）の原因による故障
 - ・火災、地震、水害、落雷およびその他の天変地変等による故障または損傷
 - ・オーバーホールおよび動作チェック等の点検作業
- 修理料金につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本保証書および保証制度は日本国内のみ有効であり、海外でのご使用時には適用されませんので、ご注意ください。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および「クラブ・ラックスマン」カードの紛失、盗難等による再発行は、原則としていたしませんので、大切に保管してください。また、保証書およびカードの不正な使用、改造の場合、保証効力が失効する場合がありますのでご注意ください。
- 修理品につきましては、ご購入店にご相談いただくか、直接弊社宛てにご送付ください。製品の梱包箱等はできるだけ保管いただきますようお願いいたします。
- プレミアム延長保証期間中の修理品輸送費につきましてはお客様負担となります。
- 修理品をご送付いただく場合は、輸送中の破損等の事故が無いようご注意ください。弊社では輸送中の事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

